

藤枝市中心市街地活性化協議会 会議録

会議名	平成25年度第1回藤枝市中心市街地活性化協議会
日時	平成25年4月30日（火） 13:30～14:25
場所	藤枝商工会議所 4Fホール
出席者	<p>会長 小林正敏          副会長 渡辺哲朗          委員 桜井幹夫、池谷 朗、村松一博、萩原正行、佐藤正基、梅津敏弘、寺島雅之、          安藤房己、秋原恭大、家本 勲、松村英行、仲田和好、鈴木健夫、名倉順二、          大塚信吾、村松徳夫、鈴木福一、藁品元行、田口敏行、井田久義、渡邊芳隆、          鈴木秀人（代理）、本多正行（代理）          委任状出席 大越真吾          オブザーバー 静岡県交通基盤部都市計画課 主幹 遠藤佳之          経済産業部商業まちづくり室 班長 影山敦彦          ” 主事 外山真吾          ※欠席者 藤枝警察署 署長 出雲孝夫</p> <p>藤枝市中心市街地活性化推進室 室長 望月壽兼          係長 渡邊章博          主任主査 岡村敏明          松浦洋平          藤枝市商業観光課 課長 幸山明広          係長 紅林 豊          主任主査 青嶋和徳          株式会社まちづくり藤枝 専務 栃本英雄          藤枝商工会議所 事務局長 杉浦 衛          課長 小口章治          課長補佐 八木弘行          吉田康夫</p>
会議内容	<p>1. 第2期藤枝市中心市街地活性化基本計画の認定報告及び主要事業について</p> <p>1. 第1期藤枝市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ報告について</p>

小口課長の司会により開会。

小林会長より挨拶を行った後、新たに委員になられた方や人事異動等による交代された新委員並びにオブザーバーの紹介を行った。

§ 新たに委員となられた方

藤枝駅前一丁目8街区再開発準備組合 理事長 鈴木健夫、  
有限会社 新日邦 人事部長 名倉順二、  
東海ガス株式会社 取締役副社長 小林 弘（本日は欠席：鈴木秀人氏代理出席）  
一般社団法人 直前会長 佐野芳正（本日は欠席：本多正行氏代理出席）

§ 人事異動による交代委員

青島第1自治会長 大塚信吾、  
青島第3自治会長 村松徳夫  
しずてつジャストライン株式会社 営業課長 大越真吾（本日も欠席）

§ オブザーバー

静岡県交通基盤部都市計画課 課長 森田尚孝（本日も欠席：遠藤佳之主幹出席）  
藤枝警察書 署長 出雲孝夫（本日も欠席）

§ 代理出席

静岡県経済産業部 地域産業課商業まちづくり室 班長 影山敦彦、  
〃 主事 外山真吾

続いて藤枝市の中心市街地活性化推進室、商業観光課の担当者の自己紹介を行った。

次に、本日の協議会が成立していることを告げ、会議の議長を協議会規約に基づき小林会長に依頼し、会議に入った。

☆ 第2期藤枝市中心市街地活性化基本計画の認定報告及び主要事業について

藤枝市中心市街地活性化推進室 望月室長・渡邊係長より、  
第2期藤枝市中心市街地活性化基本計画が3月29日に内閣総理大臣より認定を受けたこと、第2期計画の「美容学校新設事業」「東海ガス本部新築事業」「藤枝駅前一丁目8街区再開発事業」「藤枝駅南口B街区複合施設整備事業」「静岡地方法務局藤枝庁舎整備事業」「青木中央公園整備事業」等の主要事業の概要を説明。

小林議長よりご質問・意見等を求めたところ、特段質疑もなく次の報告を行った。

☆ 第1期藤枝市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ報告について

藤枝市中心市街地活性化推進室岡村主任主査より、  
第1期計画72事業中93%の67事業が事業完了・着手済みで残り5事業は第2期計画の中で実施予定であること、「歩行者通行量」「宿泊客数」「公共施設の利用者数」の3つの数値目標は達成できたこと等の報告が行われた。

小林議長よりご質問・意見等を求めたところ、

(佐藤：商工会議所商業振興委員長)

宿泊客数が目標値に比べ倍以上の達成との事だが、駅南のホテルが閉じたことについてどう考えるか。

(渡邊中心市街地活性化推進室係長)

個々のホテルによっては宿泊客数の増減があると思われるが、数値については、中心市街地での総数であり、全体としては年々増加していると把握している。駅南のホテルについては、当方の調査によると昨年度は前年度並みの客数を維持しているが、閉じられた原因につきましては、個々の企業の経営に係わることなので、回答はできません。

(佐藤：商工会議所商業振興委員長)

歩行者通行量の目標値は達成しており、て～しゃばストリートも効果があるとのことだが、周辺商店の来客数や売上等の状況は把握しているか。

(渡邊中心市街地活性化推進室係長)

毎年、社会実験として実施しているて～しゃばストリートにおいて、昨年度の調査では10日間の開催で経済波及効果が1億1,850万円にのぼったこと、来場者が支出した額のうち約6割は周辺店舗での支出だったことがわかった。イベント開催時には、アピタ藤枝をはじめとする周辺の飲食店に波及効果が生じたと把握している。

(佐藤：商工会議所商業振興委員長)

もう少し個店の声を聞いた方がよいのではないか。

(渡邊中心市街地活性化推進室係長)

来場者アンケートに加え、以前は周辺店舗へのアンケートも実施しており、て～しゃばストリート期間中は飲食店を中心に売上は上がり効果が出ていると把握している。社会実験として様々な角度から検証しており、今後も様々な形で検証を行っていく。

(寺島：商工会議所商業振興副委員長)

第1期計画の反省を踏まえて第2期計画があると思うが、何を以って成功したかという事が問題。市が把握している宿泊客数の増加は、チェーン店の進出により増加したのであって、その事によって客単価の下落を招いている。

失敗や疑問が考慮されず、さらにホテルが建設されるとますます客単価の下落により廃業等が増え活性化どころではない。

BiVi 藤枝についても、市民の声を聞いても成功だという声は聞こえてこない。

そういった反省点がどこにもないまま進めようとするに不安を感じる。

市民の声と出てくる資料の数字とに乖離があり、実際に営業している方の声を聞かずに進んでいることに不安を感じる。現状を知ったうえで事業を進めていただきたい。

(渡邊中心市街地活性化推進室係長)

活性化計画の認定要件として、衰退要因の把握が必要となっている。衰退要因となる課題について、目標指標を掲げてどう改善し、そのために事業を実施するからこの計画に支援をするという事で、課題を明確にし、それを改善するという計画でなければ国の認定は受けられない。平成23年度において、市民の皆様へのアンケート調査や中心市街地の様々な事業者の方へのヒアリング調査を幅広く行い、第1期計画にどのような課題があるか検証して目標設定し、第2期計画の認定を受けた。

目標指標のフォローアップ報告という主旨だったので、成功したことばかりクローズアップした形になったが、歩行者通行量については駅北地区において改善されていないことや宿泊客数についてもビジネス客が中心で観光という面での呼び込みが足りない等の課題があり、また、市民アンケートからは活性化は進んでいるが、街なか居住において住みにくく利便性が低いとの評価があった。

今回は、そうした部分を改善していくという事で駅の北側の再開発事業を中心に医療・福祉、子育て支援や高齢者支援等を積極的に充足させ、不足している部分を補って活性化に取り組むと考えている。

指標だけでなくあらゆる角度から検証をしたうえで第2期計画を策定している。

(名倉：(有)新日邦人事部長)

先程の発言の中で新日邦が新たなホテルを建てると周りに廃業等が増えると受け取れたが、新日邦としては新たな複合施設にテナントを誘致し、活性化になるよう取組んでおり、実際ホテル事業を行うのは別の企業になるので誤解のないようにしてほしい。

(仲田：藤枝駅南活性化連絡会議)

藤枝駅南活性化連絡会議の中では、アピタや BiVi の売上は横這いかそれ以下と聞いている。イベントを行うとアピタや BiVi、オーレ藤枝の売上は伸びるが、周辺の商店への効果はあまり出ていないのが実態である。

駅南商店街では、スタンプラリー等を行い努力しているが、商店主の話では、厳しいという声も聞く。ただ、活性化事業を行っていることで人が来てくれるということは事実であり、それを各施設や個店がいかに自分のところに誘導するかが大事であると思う。

(安藤：藤枝駅前商店街振興組合理事長)

本年度、藤枝駅前商店街では、昨年 12 月に公募があった経済産業省の地域商業再生事業に採択され、アーケード撤去と街路灯設置事業を行いますので皆様のご協力をお願いします。

(秋原：株式会社まちづくり藤枝)

(株)まちづくり藤枝が、本年 4 月 1 日から藤枝駅前商店街の中にある空店舗に事務所を移転しました。今後は、顔の見える所で駅北の活性化に寄与していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

その他小林会長から質問・ご意見等を求めたところ特になく、今後の協力をお願いし閉会した。